

三笠高1年生15人が体験学習

農場で収穫・試食 演習林内では「川の生態観察」



▲ 専大ファームで有機栽培を見学

9月29日、北海道三笠高校の1年生15人が来学し、体験学習を行った。生徒たちは、みどりの総合科学科の山梨光訓学

科長から大学の概要をはじめ、各学科・系のカリキュラムなどの説明を受けた後、溝延学教授の引率で専大ファームを見学。本学の学生たちが「有機栽培」に取り組んでいる農場で、ミニトマトやピーマンを収穫し、その場で試食。有機栽培のおいしさに驚いていた。続いて、2

専大ファームで有機栽培を見学。本学の学生たちが「有機栽培」に取り組んでいる農場で、ミニトマトやピーマンを収穫し、その場で試食。有機栽培のおいしさに驚いていた。続いて、2

美唄商工会議所青年部が主催し、本学硬式野球部が協力を「第5回キッズベースボールin専修学長杯争奪少年野球大会」が10月10日、本学野球場で開催された。美唄市内の3チームが出場し、「美唄リトルベアーズ」が決勝戦を3-2で



▲ 硬式野球部員の審判で好ゲームを展開

当。今大会でも、大会の運営や審判などに携わった。最終結果は次の通り。

◇団体表彰
▽1位 美唄東リトルベアーズ▽2位 西美唄トラクターズ▽3位 茶志内スワローズ

◇個人表彰
▽優秀選手賞 世羅大貴くん(美唄東リトルベアーズ)、櫻井寛くん(西美唄トラクターズ)、菊地皓太くん(茶志内スワローズ)

9月29日、北海道三笠高校の1年生15人が来学し、体験学習を行った。生徒たちは、みどりの総合科学科の山梨光訓学

科長から大学の概要をはじめ、各学科・系のカリキュラムなどの説明を受けた後、溝延学教授の引率で専大ファームを見学。本学の学生たちが「有機栽培」に取り組んでいる農場で、ミニトマトやピーマンを収穫し、その場で試食。有機栽培のおいしさに驚いていた。続いて、2

また、演習林内の河川では布川雅典准教授が「川の生態観察」をテーマに学外実習を展開。生徒たちは小川に入ってゼミ生の手ほどきを受け、水生生物を採取し、解説を聞きながら、生物が環境にもたらす影響を熱心に学んだ。最後に学内施設を見学。全プログラム終了後、134教室で修了式が催され、山梨教授から一人ひとりに修了証が手渡された。

美唄商工会議所青年部が主催し、本学硬式野球部が協力を「第5回キッズベースボールin専修学長杯争奪少年野球大会」が10月10日、本学野球場で開催された。美唄市内の3チームが出場し、「美唄リトルベアーズ」が決勝戦を3-2で



▲ 体験授業で水生生物を観察

また、演習林内の河川では布川雅典准教授が「川の生態観察」をテーマに学外実習を展開。生徒たちは小川に入ってゼミ生の手ほどきを受け、水生生物を採取し、解説を聞きながら、生物が環境にもたらす影響を熱心に学んだ。最後に学内施設を見学。全プログラム終了後、134教室で修了式が催され、山梨教授から一人ひとりに修了証が手渡された。



▲ 3条刈りコンバインによる刈り入れ風景



▲ バス内で児童に稲の説明

空知平野にも収穫の秋が到来し、専大ファーム第1農場で稲刈りが行われた。9月30日には近隣農家の協力でコンバインを使って、黄金色に実った稲穂を刈り入れた。

4年目を迎えた今年も、水田約50アに「おぼろづき」を作付け、化学肥料や農薬を使わない有機無農薬での栽培に取り組んだ。天候不順の影響で例年に比べ雨量が多

在学生の父母を対象とした「秋期父母懇談会」が10月11日、本学で開催された。春期とは異なり、秋期は特に前期を終えての1年次生の修学状況を中心に報告が行われた。今回も道内や東北地方をはじめ、静岡、新潟、関東圏などから50人の父母が出席し、学科説明や

その後、各学科長が今年度の就学、進路状況を説明。引き続き、個別面談が実施され、ゼミ担当教員が一人ひとりの状況に合わせて、ていねいに対応した。参加者した父母からは「子供の学力や進路について、きめ細かに教えていただき、安心してました。年2回も開催していただき、ありがたいです。子供と久し振りに会えて良かったです。などの感想が寄せられ、有意義な懇談会となった。

台風一過の10月10日、第40回体育祭(柴田美可子実行委員長)みどりの総合科学科2・埼玉県鳩ヶ谷高)が本学体育館で

今年度は例年とは異なり、北鳳祭との同時開催となったため、体育館に多くの応援の人が詰め掛けるなど、例年以上に熱気あふれる大会となった。好プレー、珍プレーが飛び出す中、5チームが出場したフットサルは「チーム鈴木」が、8チームが出場したソフトバレーは「まきこチーム」が優勝に輝き、各チームの代表者に賞品が手渡された。

※第41回北鳳祭のもようはニュース専修11月号に掲載します。

第1農場で稲刈り

「おぼろづき」約1トンを収穫

空知平野にも収穫の秋が到来し、専大ファーム第1農場で稲刈りが行われた。9月30日には近隣農家の協力でコンバインを使って、黄金色に実った稲穂を刈り入れた。

4年目を迎えた今年も、水田約50アに「おぼろづき」を作付け、化学肥料や農薬を使わない有機無農薬での栽培に取り組んだ。天候不順の影響で例年に比べ雨量が多

中止となった。そこで予定を変更し、バスの中で稲穂について

「秋期父母懇談会」を開催
就学・進路を中心に報告

第40回体育祭
ソフトバレー、フットサルで熱戦

熱戦のソフトバレー

北海道短期大学

〒012-8501 美唄市字美唄1610-1
http://www.senshu-hc.ac.jp

メールアドレス
nyushi@senshu-hc.ac.jp

ダイヤルイン
(入試関係)
0126-63-0123

2010年度 専修大学北海道短期大学入学試験日程

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日	選考方法
A O 入学試験	10/19(月)～2010年3/23(火)	注1)	11/13(金)	書類審査
			12/28(月)	
			2/5(金)	
			2/19(金)	
			3/15(月)以降随時	
推薦入学試験	10/19(月)～10/30(金)	11/6(金)	11/13(金)	面接 書類審査
			12/7(月)～12/21(月)	
一般入学試験	2010年1/12(火)～1/25(月)	注3)	1/29(金)	書類審査
			2/26(金)	
			3/12(金)	
S方式入学試験	2010年2/8(月)～2/22(月)	2010年3/1(月)～3/8(月)	3/3(火)	書類審査
			3/15(月)	
			3/24(火)	
社会人・校友同窓入学試験	10/19(月)～10/30(金)	11/6(金)	11/13(金)	面接 書類審査
			2010年3/1(月)～3/8(月)	

注1) A O入試は事前にエントリーシートを提出し、面接等を経てから出願。
注2) 指定校推薦は書類審査のみ。
注3) 一般入学試験の試験科目は小論文(600字程度)、国語総合(古文・漢文を除く)、現代文から1科目選択。

お問い合わせ先 〒079-0197 北海道美唄市字美唄1610-1
専修大学北海道短期大学 入試係 ☎0126-63-0123(直通) FAX0126-63-3097